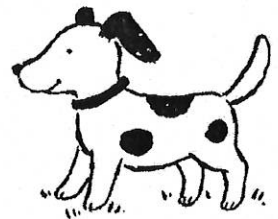


犬のふん尿等の適正処理について

最近、家の前や道路などに犬のふん尿の放置、悪臭、汚れで困っているとの苦情が多く寄せられています。

犬を飼育する上で、ふん尿を適正に処理し、他人に迷惑を掛けないようにすることは飼い主の最低限の責任です。

『犬も家族の一員』



◇犬のふんは袋等に入れ必ず持ち帰りましょう。

あらかじめビニール袋や市販の専用袋等を用意しておきましょう。

持ち帰ったふんは、可燃ごみとして適正に処理しましょう。

◇散歩中におしっこをしたら水で流しましょう。

水を入れたペットボトル等を用意しておきましょう。

犬がおしっこをしたら、水で流しましょう。

◇散歩や運動の際は、引き綱（リード）を確実につけましょう。

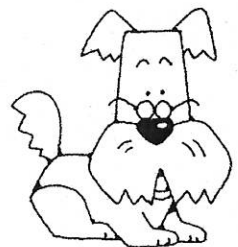
散歩の際は、引き綱を短く持ち犬の行動をコントロールし、事故が起きないように周囲にも注意を向けましょう。

◇登録及び狂犬病予防注射の実施と所有者の明示をしましょう。

犬の飼育に際しては、登録と年1回の狂犬病予防注射が必要です。

この際に交付される鑑札を首輪等に必ず装着しましょう。

迷子になってしまった場合に見つけやすくなります。



◇犬の習慣や習性を理解し、しつけをしましょう。

人に危害を加えたり、鳴き声等で近隣に迷惑を掛けないよう、しつけをしましょう。